

## ＜現 況 報 告 書＞

### ◆令和6年度 事故発生状況（滝川中央保育所）

	発生日時	発生場所	対象児童 年齢	発生状況	症状	経過等
1	R6.11.11 8:50	1階遊戯室	3歳児 女児	保育中、遊戯室で鉄棒に両手でぶら下がっていたところ、鉄棒から左手が離れて支柱に後頭部をぶつけた。	頭部外傷 後頭部挫創	止血し、滝川脳神経外科病院を受診。後頭部打撲傷 挫創と診断。1針縫合。1週間後、抜針。 ※スポーツ振興センター給付対象
2	R6.12.4 9:40	1階遊戯室	4歳児 男児	保育中、遊戯室で他児と整列していた際に、床に落ちていた長さ1cmほどのストローを自分で右鼻に入れ、鼻から出血した。	右鼻腔異物	保護者に連絡し、滝川市立病院耳鼻咽喉科を受診。医師により異物（ストロー）摘出。再受診の必要なし。 ※スポーツ振興センター給付対象
3	R7.2.10 9:10	1階遊戯室	4歳児 男児	平均台を降りた際にバランスを崩し転倒。周囲には子どもはいなかった。	左前腕骨折	保護者に連絡し、滝川市立病院整形外科を受診。手術後、1泊2日入院。退院後は通院予定。治療見込みは3か月から6か月。 ※スポーツ振興センター給付申請予定

（令和7年3月1日現在）

### ◆令和6年度 給食時における異物混入等の状況（滝川中央保育所）

	発生年月日	混入異物	発生状況	児童への被害	混入の要因	対応策
1	R7.2.4	ビニール片	2歳児が給食を食べていたところ、「ひじきの炒め煮」の中からビニール片が出てきた。	口に入れる前に気がついた。他にもビニール片が混入している可能性があるため、ひじきの炒め煮の提供を中止した。	白滝を開封する際にハサミを使用していたが、切れ端が出ってしまった。また、切れ端を捨てることなく次の作業を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開封作業は焦らずに、かつ丁寧に行う。</li> <li>・開封は必ずハサミを使用し、破片が出ないように切る。</li> <li>・破片が出てしまった場合は、切れ端と断面を確認してすみやかに捨てる。</li> </ul>
2	R7.2.13	ビニール片のようなもの	乳児クラスで3時間食を食べていたところ、「きなこマカロニ」の中からビニールのようなものが出てきた。	保育士が食べさせる前に気がつき、きなこマカロニの提供を中止した	給食室で開封したマカロニ・きなこ・砂糖の袋を確認したが、該当する破片は確認できなかった。そのため、給食室か保育室かどこで混入したのかは不明。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛り付け後の料理は、ラップをかけて配膳する。</li> <li>・給食を提供するときは、調理員や保育士等複数の目で確認する。</li> </ul>

（令和7年3月1日現在）

◆令和6年度 苦情等受付状況（滝川中央保育所）

提言メール、保護者からの通告ともに報告案件なし。

※滝川中央保育所分園東栄保育所については、H30～休所、R6.7.1付け廃止のため、事故発生状況及び苦情等受付状況ともに報告案件なし。